

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育研究（生活・環境）		小原 伸子	講義	2	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格選択必修			
学習目標	保育の現場において生活をみな直し、「環境を通して行う教育」を実践する能力を高めるために、1. 幼児の生活に必要な基本的な生活習慣について学ぶ。2. 幼児におこるケガや病気、感染症の知識を学び、予防・救急を学ぶ。3. 「環境を通して行う教育」における保育者の関わり方を学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児の生活と環境（1）	0 から 5 歳児の食事について			
2	幼児の生活と環境（2）	0 から 5 歳児の排泄について			
3	幼児の生活と環境（3）	0 から 5 歳児の睡眠について			
4	幼児の生活と環境（4）	0 から 5 歳児の着脱について			
5	幼児の生活と環境（5）	0 から 5 歳児の清潔について			
6	幼児の生活と環境（6）	あいさつについて			
7	ケガや病気の予防・救急（1）	ケガの手当てと対応			
8	ケガや病気の予防・救急（2）	症状別の手当てと対応			
9	ケガや病気の予防・救急（3）	感染症の症状と対応			
10	保育環境について（1）	0 歳児の保育室、1・2 歳児の保育室、3～5 歳児の保育室			
11	保育環境について（2）	園内の設備・プール遊び			
12	保育環境について（3）	衛生管理について			
13	模擬保育準備	「環境を通して行う教育」を意図した保育計画の立案			
14	模擬保育発表（1）	グループごとの模擬保育発表および講評			
15	模擬保育発表（2）	グループごとの模擬保育発表および講評			
参 考 書	文部科学省「小学校学習指導要領解説 生活編」日本文教出版 2008 田尻由美子・無藤隆編「保育内容 子どもと環境—基本と実践事例」同文書院 2006				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	グループでの討議・発表を適宜とり入れるので、討議・発表に向けての準備（授業時間外での自己学習）を含め、積極的に参加すること。				
評価の方法と時期	グループ討議・発表への参加状況、出席状況およびレポートで総合的に判定する。				